

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月25日		記入者		連絡先 2175
部 名	企画部	課 名	広報課		課長名 白井 誠一
事務事業名	広報さがみはら縮刷版				
予算上の事務事業名	広報さがみはら縮刷版				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	36110	
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第6章 高度情報化への対応を図ります				
基本施策名	第1節 豊かな市民生活を実現する情報化の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 情報通信メディアを活用した行政サービスの推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市広聴広報規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント				▼
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）</p> <p>広報さがみはらのバックナンバー（1年分）をCDに収録し、行政資料として保存する。また、公共施設にも閲覧用として配架するほか、市民にも有償で提供する。</p> <p>(2) 対象（誰、何）</p> <p>各課・機関及び市民</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>17年度(16年度版) 制作部数=240枚(CD形式) 配布部数=196枚 保存用=34枚 販売用=10枚(販売実績0枚) 収録号=平成15年4月1日号～16年3月15日号 発行日=平成17年9月30日 (配布先：秘書課、総務課、議会事務局、図書館、博物館、総合学習センター、小・中学校、近隣自治体他) 【参考実績】 16年度(15年度版)制作部数=240枚(CD形式) 配布部数=196枚 保存用=34枚 販売用=10枚(販売実績1枚) 15年度(14年度版)制作部数=250冊(冊子形式) 配布部数=196冊 保存用=34冊 販売用=20冊(販売実績2冊)</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	市ホームページで広報紙バックナンバー（PDF）を公開している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	396	200	230	0	0
一般財源	396	200	230	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	15	15	15	10	10
事業コスト合計	411	215	245	10	10
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	広報さがみはら縮刷版			対象名称 と単位	制作部数(冊・枚)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	411	215	245	10	10
対象数	250	240	240	10	10
単位あたり経費(円)	1,644	896	1,021	1,000	1,000
前年度比		0.54	1.14	0.98	1.00

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	制作部数	指標式と指標の説明	実際に制作した部数(冊・枚)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	250.0	240.0	240.0		
目標	250.0	240.0	240.0	10.0	10.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	配布及び販売部数	指標式と指標の説明	平成15～17年度に配布及び販売した総数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	198.0	197.0	196.0		
目標	206.0	206.0	206.0	10.0	10.0
目標達成度(%)	96.1	95.6	95.1		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
廃止	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			販売実績からも市民の需要は低いものと判断され、配布先の活用状況は不明だが、さほど高いとは考えにくい。また、既に市ホームページでバックナンバーを公開するという代替手段も確立されていることから、外部委託で大量に制作する現在の方式は廃止する。
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
配布や有償頒布を前提とした制作は廃止するが、保存版は行政資料として残しておく必要がある。広報紙印刷業者にPDFの提出を義務付けているため、PDFデータを活用して保存版のCDを作成する作業は、職員対応により今後も継続する。図書館等には必要に応じてCDを作成し配架する。			市民等からの有償頒布の需要があった場合の対応策を確立しておく必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
廃止	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			事業所管課の課長による評価(今後の方向性)のとおり、廃止とする。
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・廃止			